

輸送動向について(平成22年12月分)

平成23年1月

1. 輸送概況

今月は、上旬に東北・北陸地区を中心に強風による運転規制が発生したほか、下旬には、北日本地区において強風及び大雪による輸送障害が発生し、高速貨153本、専貨10本が運休した。

荷動きについては、円高に一服感が生じ輸出関連の製造業の生産が持ち直したことに加え、年末需要及び家電エコポイント制度による家電買い替え需要の高まりもあり、月を通して堅調に推移した。

コンテナ貨物は、野菜類の生育不良により農産品・青果物が前年を下回ったものの、自動車部品、家電・情報機器などが前年を大きく上回り、全体では前年比103.7%となった。家電・情報機器は家電エコポイント制度の影響により増送となった。また、自動車部品は一部車種の生産台数の増加に伴い増送となった。

車扱貨物は、石油などが前年を下回ったものの、セメント・石灰石などが前年を上回り、全体では前年比100.2%となった。石油は燃料転換の進展に加え、前年より気温が高めに推移したこともあり、重油及び灯油の需要が減少し減送となった。セメント・石灰石はメーカーの出荷が好調に推移し増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,865	1,799	103.7%	15,913	15,246	104.4%
車 扱	1,120	1,118	100.2%	7,516	7,628	98.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	182	196	-14	92.9%
	化学工業品	169	163	6	103.7%
	化学薬品	134	130	4	103.1%
	食料工業品	317	308	9	102.9%
	紙・パルプ	264	259	5	101.9%
	他工業品	137	123	14	111.4%
	積合せ貨物	211	208	3	101.4%
	自動車部品	73	60	13	121.7%
	家電・情報機器	51	38	13	134.2%
	エコ関連物資	31	30	1	103.3%
	その他の	296	284	12	104.2%
コンテナ計	1,865	1,799	66	103.7%	
車 扱	石油	812	822	-10	98.9%
	セメント・石灰石	114	108	6	105.8%
	車 両	97	106	-9	91.5%
	その他の	97	83	14	116.9%
	車 扱 計	1,120	1,118	2	100.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)